

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 28 年 6 月 23 日 (2016.6.23)

【公開番号】特開 2014-236449 (P2014-236449A)

【公開日】平成 26 年 12 月 15 日 (2014.12.15)

【年通号数】公開・登録公報 2014-069

【出願番号】特願 2013-118356 (P2013-118356)

【国際特許分類】

H 0 3 M 7/42 (2006.01)

【F I】

H 0 3 M 7/42

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 4 月 13 日 (2016.4.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の固定長のシンボルからなる入力データ列に含まれた、連続する 2 以上のシンボルが登録されている場合、前記 2 以上のシンボルを 1 つのシンボルに変換する変換部と、
前記変換部で前記 2 以上のシンボルが 1 つのシンボルに変換された場合は、当該 1 つのシンボルを出力し、そうでない場合は、前記 2 以上のシンボルを出力する出力部と、
を含むデータ圧縮器。

【請求項 2】

前記出力部の、前記 2 以上のシンボルが 1 つのシンボルに変換された場合の出力は、そうでない場合の出力が取り得ない値となる
請求項 1 に記載のデータ圧縮器。

【請求項 3】

前記変換部は、前記 2 以上のシンボルが 1 つのシンボルに変換された場合、当該 1 つのシンボルに変換したことを示すフラグを出力し、そうでない場合、前記 2 以上のシンボルの各々に変換していないことを示すフラグを出力する
請求項 1 又は 2 に記載のデータ圧縮器。

【請求項 4】

前記変換部は、C A M (Content Addressable Memory) である

請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載のデータ圧縮器。

【請求項 5】

所定のルールに基づいて、前記入力データ列に含まれる前記シンボル間の区切位置を決定する区切位置決定部
をさらに含み、

前記変換部は、前記区切位置を基準として、前記連続する 2 以上のシンボルが登録されているか判断する

請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載のデータ圧縮器。

【請求項 6】

前記区切位置決定部は、前記シンボルに対して予め定められた優先度を用いて、連続する 2 つの前記シンボルが示す値の優先度に基づいて、前記区切位置を決定する

請求項 5 に記載のデータ圧縮器。

【請求項 7】

前記変換部は、複数の固定長のシンボルからなる入力データ列に含まれた、連続する 2 以上のシンボルの組合せであってシンボル数が固定の組合せが登録されている場合、当該シンボルの組合せを 1 つのシンボルに変換する

請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載のデータ圧縮器。

【請求項 8】

前記変換部は、複数の固定長のシンボルからなる入力データ列に含まれた、連続する 2 つのシンボルが登録されている場合、前記 2 つのシンボルを 1 つのシンボルに変換する

請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載のデータ圧縮器。

【請求項 9】

請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載のデータ圧縮器を複数直列に接続し、
前段のデータ圧縮器の出力を後段のデータ圧縮器に
データ圧縮装置。

【請求項 10】

入力データ列に含まれる固定長のシンボルが、圧縮処理において 2 以上のシンボルから変換されたシンボルとして登録されている場合、当該シンボルを前記 2 以上のシンボルに変換する変換部と、

前記変換部で前記シンボルが前記 2 以上のシンボルに変換された場合は、前記 2 以上のシンボルを出力し、そうでない場合は、前記入力データ列に含まれるシンボルを出力する出力部と、

を含むデータ解凍器。

【請求項 11】

前記圧縮処理において 2 以上のシンボルから変換されたシンボルは、アドレスとして登録されており、前記変換部は、前記アドレスに対応付けて保持する 2 以上のシンボルを出力するメモリである

請求項 10 記載のデータ解凍器。